

# 十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020（概要）

## 1. 現状分析

- (1)公園の特徴
- (2)公園を訪れている外国人旅行者
- (3)公園が有する課題
  - 1)利用拠点(施設の老朽化・廃屋等・冬期利用促進等)
  - 2)アクセスルート・公園道路(公園までの誘導・二次交通等)
  - 3)受入態勢(多言語対応・Wi-Fi等・接遇・体験プログラム)
  - 4)情報発信
  - 5)ターゲットに応じた外国人目線の取組
  - 6)自然環境の保全

## 2. 目指すべき姿・取組の方針

- (1)多彩な登山道を活かします
- (2)冬季の楽しみを充実させます
- (3)温泉・湯治を楽しんでいただきます
- (4)手軽に原生的な自然・活火山現象を楽しんでいただきます
- (5)十和田信仰を体感していただきます
- (6)アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化を行います
- (7)ビューポイント(重点取組地域)で集中的な取組を進めます
- (8)情報発信・プロモーションを行います
- (9)ターゲットのニーズを把握して取組みます



## 3. 目標

外国人利用者数 3倍  
2015年：7千人 → 2020年：2.1万人

## 4. プロジェクトの実施

- (1)アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化
- (2)ビューポイントにおける集中的な取組
- (3)公園全体に関する取組等
- (4)情報発信・プロモーション
- (5)構成員以外の主体による関連した取組

## 5. 効果検証

十和田八幡平国立公園のテーマ  
みちのくの脊梁～原生林が彩る静謐の湖水、  
息づく火山と奥山の湯治場

自然公園財団提供

# 十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020（概要）

目標：外国人利用者数 3倍（2015年：7千人→2020年：2.1万人）

## 課題

- ① 利用拠点：施設の老朽化、廃屋等、冬期利用促進
- ② アクセスルート・公園道路：公園までの誘導、二次交通
- ③ 受入態勢：多言語対応、Wi-Fi、接遇、体験プログラム
- ④ 情報発信
- ⑤ ターゲットに応じた外国人目線の取組
- ⑥ 自然環境の保全



■利用拠点の廃屋等(休屋休平地区)



■多言語未対応の標識

## 目指すべき姿・取組の方針

【原生的自然環境と風景の保全、広域での連携】

### ① 多彩な登山道を活かす



### ② 冬の楽しみを充実



### ③ 温泉・湯治体験



後生掛温泉提供

### ④ 手軽に原生自然を楽しむ



### ⑤ 十和田信仰を体感



■ガイドツアー限定エリア候補地(左)

### ⑥ アクセスルートの景観向上・案内誘導強化

✓ 標識表記等統一、廃屋等撤去、二次交通改善、景観計画検討、公園入口標識再整備

### ⑦ ビューポイントにおける集中的な取組

✓ 青樅山バイパス整備による自然保護と利活用の両立  
✓ 岩手山登山口の乱立標識の整理  
✓ 休屋休平地区、八幡平見返峠の廃屋撤去・総合的再整備  
✓ Wi-Fi、多言語対応、体験プログラム、ガイド育成、ビジターセンターの魅力向上、自然環境の保全

### ⑧ 情報発信・プロモーション

✓ 十和田・八甲田観光ブラッシュアップ事業、DMO検討等の体制強化

### ⑨ ターゲットのニーズを把握した取組み